



2024年10月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年6月10日

上場会社名 くら寿司株式会社
コード番号 2695 URL <https://www.kurasushi.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 邦彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理本部長 (氏名) 津田 京一

TEL 072-493-6189

四半期報告書提出予定日 2024年6月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年10月期第2四半期の連結業績(2023年11月1日～2024年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年10月期第2四半期	116,071	14.0	5,636		5,996		3,948	
2023年10月期第2四半期	101,845	14.0	1,186		1,141		1,095	

(注) 包括利益 2024年10月期第2四半期 4,705百万円 (%) 2023年10月期第2四半期 1,521百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年10月期第2四半期	99.35	99.31
2023年10月期第2四半期	27.55	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年10月期第2四半期	139,965	75,082	41.3
2023年10月期	130,119	70,566	41.6

(参考) 自己資本 2024年10月期第2四半期 57,760百万円 2023年10月期 54,186百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年10月期		0.00		20.00	20.00
2024年10月期		0.00			
2024年10月期(予想)			0.00	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年10月期の連結業績予想(2023年11月1日～2024年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	234,000	10.7	5,500	123.9	6,000	108.1	3,500	305.4	88.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2024年6月10日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年10月期2Q	41,399,600 株	2023年10月期	41,399,600 株
期末自己株式数	2024年10月期2Q	1,657,053 株	2023年10月期	1,653,927 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年10月期2Q	39,743,849 株	2023年10月期2Q	39,743,559 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、業績予想の前提条件その他関連する事項につきましてはP3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年11月1日から2024年4月30日)におけるわが国経済は、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化に加え、中東情勢の緊迫化、円安の進行などにより、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。外食産業におきましても、仕入れ価格の上昇や人件費、光熱費の上昇等、厳しい環境は続いております。

このような状況のもと、当社グループは、抗菌寿司カバーやお客さまが入れ替わるごとに醤油差しなどの備品を入れ替えるクリーンテーブルなど安心・安全に関するさまざまな取り組みを行いながら、回転レーンを通じて、お寿司が回るエンターテインメント性を大切に、回転寿司本来の手軽さと楽しさを追求してまいりました。

店舗開発につきましては、国内5店舗、米国9店舗、アジア2店舗の計16店舗を出店いたしました。この結果、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、全て直営で665店舗(「無添蔵」4店舗、「くら天然魚市場」1店舗、米国59店舗、アジア58店舗を含む)となりました。

セグメント業績は次の通りであります。

①日本

日本国内におきましては、当社の強みである「まぐろ」「かに」など質の高い商品を中心としたフェアの展開、大人気キャラクター「ちいかわ」や劇場版が公開された人気アニメ「名探偵コナン」とのコラボ企画の実施により、売上高は好調に推移いたしました。経営と現場が一体となって、個々の商品ごとにきめ細やかな商品設計を適宜行ったこともあり、当第2四半期連結累計期間の売上高、経常利益はともに過去最高となりました。

また、4月には大手回転寿司としては銀座エリアでは初めての出店となる「グローバル旗艦店銀座」をオープン。国内だけでなく拡大するインバウンド需要の取り込みも図っております。

この結果、売上高876億30百万円(前年同期比8.7%増)、経常利益58億38百万円(前年同期は経常損失15億14百万円)となりました。

②北米

米国子会社 Kura Sushi USA, Inc. (KSU) におきましては、積極的な新規出店と堅調な米国経済を背景に好調な売上高となりました。一方で、新規出店の前倒しに伴う先行投資や人件費の上昇などによりコストは上昇しました。出店についてはミズーリ州カンザシティ店、テキサス州ウェブスター店など9店舗となりました。

この結果、売上高160億88百万円(前年同期比39.5%増)、経常損失4億37百万円(前年同期は経常損失4億19百万円)となりました。

③アジア

台湾子会社 亞洲藏壽司股份有限公司(KSA)におきましては、食材原価の上昇もありましたが、好調な経済を背景に売上高、利益ともに順調に推移いたしました。日本でも人気の「サンリオ」とのコラボキャンペーンは、お客様に大変ご好評をいただきました。出店については新店威秀裕隆店、羅東中山路店の2店舗となりました。

この結果、売上高124億95百万円(前年同期比27.7%増)、経常利益は5億94百万円(前年同期比25.0%減)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,160億71百万円(前年同期比14.0%増)、経常利益59億96百万円(前年同期は経常損失11億41百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は39億48百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失10億95百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産総額は、1,399億65百万円となり、前連結会計年度末と比較して98億46百万円増加いたしました。これは、主に現金及び預金が28億60百万円、売掛金が7億18百万円、有形固定資産が55億99百万円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して53億30百万円増加し、648億83百万円となりました。これは、主に買掛金が6億36百万円、未払法人税等が16億41百万円、固定負債のリース債務が20億69百万円増加したこと等によるものであります。

純資産につきましては、主に親会社株主に帰属する四半期純利益39億48百万円を計上したこと等により、前連結会計年度末と比較して45億16百万円増加し、750億82百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローが104億8百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが54億95百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが23億55百万円の支出となりました。この結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という)残高は、期首より28億60百万円増加し、218億1百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は104億8百万円(前年同期比150.4%増)となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益が59億39百万円であったことに加えて、減価償却費が50億88百万円あった一方で、売上債権の増加が6億99百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は54億95百万円(前年同期比2.9%減)となりました。これは有形固定資産の取得による支出が51億89百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は23億55百万円(前年同期比27.4%増)となりました。これは、リース債務の返済による支出が18億21百万円、配当金の支払額が7億95百万円あったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、本日(2024年6月10日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,940	21,801
売掛金	5,162	5,880
有価証券	1,248	915
原材料及び貯蔵品	2,522	3,008
その他	2,887	3,185
流動資産合計	30,761	34,791
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	35,875	38,344
使用権資産(純額)	25,766	28,390
その他(純額)	22,749	23,256
有形固定資産合計	84,392	89,992
無形固定資産		
	1,572	1,603
投資その他の資産		
長期貸付金	4,925	4,984
差入保証金	7,000	7,257
その他	1,466	1,336
投資その他の資産合計	13,393	13,578
固定資産合計	99,357	105,174
資産合計	130,119	139,965
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,065	7,702
短期借入金	927	947
未払金	8,013	8,387
未払法人税等	1,099	2,741
その他	9,065	9,552
流動負債合計	26,171	29,330
固定負債		
リース債務	29,230	31,299
資産除去債務	2,968	3,183
その他	1,183	1,069
固定負債合計	33,382	35,552
負債合計	59,553	64,883
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,005	2,005
資本剰余金	10,900	10,900
利益剰余金	40,294	43,448
自己株式	△2,003	△2,003
株主資本合計	51,197	54,351
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	5
為替換算調整勘定	2,986	3,403
その他の包括利益累計額合計	2,989	3,409
新株予約権	1,354	1,698
非支配株主持分	15,024	15,622
純資産合計	70,566	75,082
負債純資産合計	130,119	139,965

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)
売上高	101,845	116,071
売上原価	46,347	47,528
売上総利益	55,497	68,542
販売費及び一般管理費	56,684	62,906
営業利益又は営業損失(△)	△1,186	5,636
営業外収益		
受取利息	55	295
受取手数料	78	97
為替差益	-	97
雑収入	117	68
営業外収益合計	251	558
営業外費用		
支払利息	122	180
為替差損	76	-
雑損失	7	19
営業外費用合計	206	199
経常利益又は経常損失(△)	△1,141	5,996
特別損失		
固定資産除却損	49	30
店舗契約解約損	-	23
減損損失	13	3
特別損失合計	62	57
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,203	5,939
法人税、住民税及び事業税	306	2,043
法人税等調整額	△415	33
法人税等合計	△109	2,076
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,094	3,862
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△86
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,095	3,948

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,094	3,862
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	-	5
為替換算調整勘定	△427	837
その他の包括利益合計	△427	842
四半期包括利益	△1,521	4,705
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,354	4,368
非支配株主に係る四半期包括利益	△167	336

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,203	5,939
減価償却費	4,153	5,088
減損損失	13	3
受取利息	△55	△295
支払利息	122	180
棚卸資産の増減額(△は増加)	△502	△472
売上債権の増減額(△は増加)	△169	△699
仕入債務の増減額(△は減少)	1,095	602
未払消費税等の増減額(△は減少)	△265	△213
その他	1,196	657
小計	4,385	10,790
利息の受取額	35	276
利息の支払額	△122	△180
法人税等の支払額	△141	△478
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,155	10,408
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	—	△517
有価証券の償還による収入	—	887
有形固定資産の取得による支出	△4,988	△5,189
無形固定資産の取得による支出	△218	△142
貸付けによる支出	△284	△273
差入保証金の差入による支出	△109	△276
差入保証金の回収による収入	21	34
その他	△79	△18
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,658	△5,495
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	443	—
リース債務の返済による支出	△1,611	△1,821
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△792	△795
ストックオプションの行使による収入	111	261
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,849	△2,355
現金及び現金同等物に係る換算差額	△130	303
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,483	2,860
現金及び現金同等物の期首残高	13,169	18,940
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	233	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,920	21,801

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	日本	北米	アジア	計		
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	80,533	11,530	9,781	101,845	—	101,845
外部顧客への売上高	80,533	11,530	9,781	101,845	—	101,845
セグメント間の内部 売上高又は振替高	109	—	—	109	△109	—
計	80,642	11,530	9,781	101,954	△109	101,845
セグメント利益又は 損失 (△)	△1,514	△419	793	△1,141	—	△1,141

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常損失と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	日本	北米	アジア	計		
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	87,487	16,088	12,495	116,071	—	116,071
外部顧客への売上高	87,487	16,088	12,495	116,071	—	116,071
セグメント間の内部 売上高又は振替高	143	—	—	143	△143	—
計	87,630	16,088	12,495	116,214	△143	116,071
セグメント利益又は 損失 (△)	5,838	△437	594	5,996	—	5,996

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、海外事業規模の拡大に伴いロイヤリティの重要性が増していることを踏まえて、従来、個別財務諸表において「営業外収益」の区分に表示しておりましたロイヤリティ収入を「売上高」に含めております。これにより、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報についても組替後の数値を記載しております。